**別紙１（おもて）**（＊パソコンから出力する場合は、両面印刷した上でご使用ください。）

**障がい者を対象とした**

**地方独立行政法人青森県産業技術センター**

**非常勤事務員採用試験（令和７年４月採用）**

**応　募　書**

◎黒か青のインク又はボールペンで、※印欄を除くすべての欄に記入してください。 （写真欄）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 勤 務 地 | 黒石市 | ※　受験受付　　　　　　　　　　　　　（面接） |  | ・必ず写真を貼って下さい。・写真は正面からの顔写真とします。・写真の裏面に氏名を必ず記入して下さい。・縦４cm、横3cm程度です。 |
|   |
| （ふりがな）氏　　名 |  | 性別 | ※　受験番号 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 生年月日 | 昭和・平成　　 年　 　月　 　日生（**令和７年４月１日現在** 満　　 歳） |  | 令和　　年　　月撮影(６か月以内に撮影したもの） |
| 現 住 所 | （〒　　－　　　）アパート等の場合は、棟室番号まで詳しく記入してください。（　　　　　）方 |
| ＴＥＬ（　　　　）　　　―　　　　　　　　　　携帯（　　　　）　　　― |
| 受 験 票送 付 先 | （〒　　－　　　）現住所以外(実家等)への受験票の送付を希望する場合に記入してください。（　　　　　）方 |
| ＴＥＬ（　　　　）　　　―　 |
| （いずれかを○で囲んでください。）1 身体障害者手帳又は指定医等の診断書等2 療育手帳又は児童相談所等が発行した知的障害者の判定書3 精神障害者保健福祉手帳 | 交 付 機 関 名 | 交 付 年 月 日 | 交 付 番 号 |
| 都道府県市 | 年 月 日（再交付 年 月 日） | 　第　　　　　　　号 |
| 障害名 |  | 障害の程度 | 　　　　　　級 |
| 当日の補装具等の持込 | なし □ ※「あり」の場合は、次のいずれかを○で囲んでください。あり □（　車イス、　拡大鏡（ルーペ））、その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　）） |
| 最終学歴 | 学 校 名 | 学 科 | 卒 業 年 月 | 卒 業 区 分 |
|  |  | 昭和・平成年　　月 | １　卒業２　卒業見込 |
| 現在の職業 | 勤 務 先 名 称 | 所 在 地 | 職 務 内 容 | 在 職 期 間 |
|  |  |  | 　　年　　月から |
| 私は、試験案内に掲げてある応募資格をすべて満たしており、応募書及び履歴書のすべての記載事項に相違ありません。　　　　令和　　年　　月　　日　　　　　　 　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　（日付・氏名を必ず自署してください。） |

＜注意事項＞

（１）黒か青のインク又はボールペンで、※印欄（受験受付・受験番号）を除く全ての欄に記入してください。

（２）「性別」欄の記入は任意です。未記入も可能です。

（３）「手帳名」及び「卒業年月」欄は、該当する番号等を○で囲んでください。

（４）「最終学歴」欄は、中退の場合はひとつ前の学歴を記入してください。

（５）応募書類の記載事項に虚偽申告があると、合格しても採用されない場合があります。

**別紙１（うら）**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 |  |

**応募書つづき**

**自　己　申　告　書**

１　自家用車通勤

　（１）自家用車による通勤について、該当する番号を○で囲んでください。

　（２）特に補足したいことがある場合は、備考欄に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 自家用車による自力通勤が　　　　　　　　　　１　できる。　　　　　　　　　　２　できない。 | 備　　　　　考 |
|  |

２　業務遂行

　（１）業務遂行について、該当する番号を○で囲んでください。

　（２）特に補足したいことがある場合は、備考欄に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 介護者なしで業務が遂行　　　　　　　　　　１　できる。　　　　　　　　　　２　できない。 | 備　　　　　考 |
|  |

３　パソコン操作

　（１）あなたのパソコン操作の能力について、該当する番号を○で囲んでください。（複数回答可）

　（２）特に補足したいことがある場合は、備考欄に記入してください。

|  |
| --- |
| 　１　ワープロソフト（ワード又は一太郎など）で簡単な（文字のみの）文書の作成ができる。　２　ワープロソフトで複雑な（表・罫線が入った）文書の作成ができる。　３　表計算ソフト（エクセルなど）で簡単な（加減乗除のみの）集計表の作成ができる。　４　表計算ソフトで複雑な（関数を使用した）集計表の作成ができる。　５　ホームページの作成ができる。　６　上記１～５のいずれの操作もできない。 |
| 備　　　　　考 |
|  |